

かんたんセットアップガイド

セットアップを始める前に

⇒ 解説書の「構成部品リスト」と、「安全にご使用いただくために」をご覧ください。

本紙に記載されていない次のような内容は、解説書をご覧ください

- ✓ 製品構成品のリスト
- ✓ 安全にお使いいただくために
- ✓ 設置方法
- ✓ トラブル対処（困ったときには）

配線時の注意事項は、「配線業者様へ」をご覧ください。

1. 用意するもの

本製品を設定するためには、以下の機材を必ずご用意ください

[接続パソコンに関係なく必要な機材]

- ✓ 本体用 AC アダプタ(12-24V 出力, 12W 以上) x1
- ✓ 本体用ディスプレイ (DVI-D 入力, 1280x720 対応) x1
- ✓ ディスプレイ用ケーブル (DVI24pin オス DVI-D 対応) x1
- ✓ Windows パソコン x1
- ✓ LAN クロスケーブル x1 …オプション
- ✓ アース接地用の電線 (適合線材 AWG28-16)

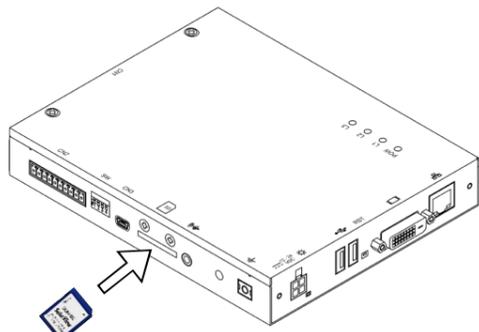
[RS-485 パソコンと接続するとき]

- ✓ RS-485 パソコンの接続ケーブル (適合線材 AWG28-16)
→ 結線方式にあわせて準備してください。
- ✓ 終端抵抗 …本製品が接続の終端になる場合。(製品付属: 100Ω抵抗)
SV-CPT-MC310 のとき: x1、SV-CPT-MC310F のとき: x2

[LAN パソコンと接続するとき]

- ✓ スイッチング HUB x1
→ LAN パソコンの接続台数 + 3ポート以上の空きポートがあること。
- ✓ LAN ケーブル (ツイストペア・ストレート仕様) x2 + パソコン接続数分
→ パソコンとスイッチング HUB 間の接続に使用
→ SolarView 本体とスイッチング HUB 間の接続に使用
→ Windows パソコンとスイッチング HUB 間の接続に使用する

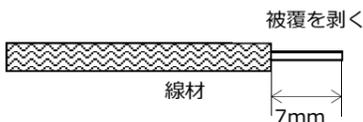
2. SD カードを装着する



本体の SD カードスロットに、商品に添付されているシステム用の SD カードを挿入してください。

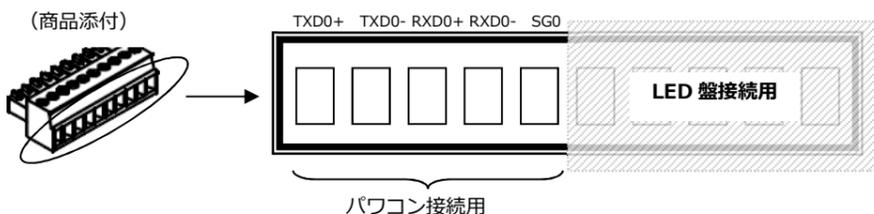
3. 通信ケーブルを準備する (RS-485)

RS-485 の接続ケーブルの両端は、以下の要領で被覆部を処理してください。



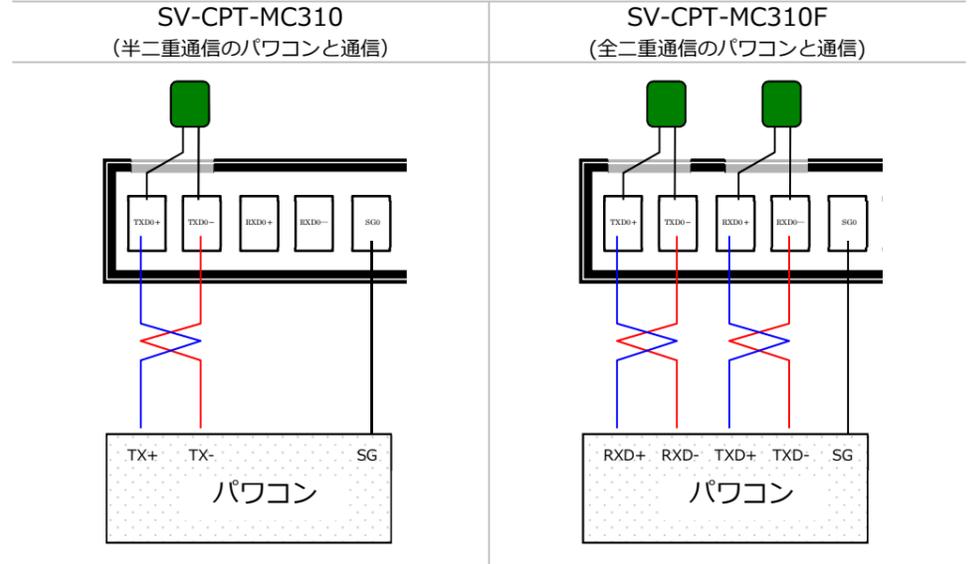
配線を行う場合は、線材の被覆部を約 7mm 程度剥いた後、開口部に挿入してください。挿入後スクリューで、線材を固定します。

(商品添付)



4. 配線仕様と終端抵抗を確認する (RS-485)

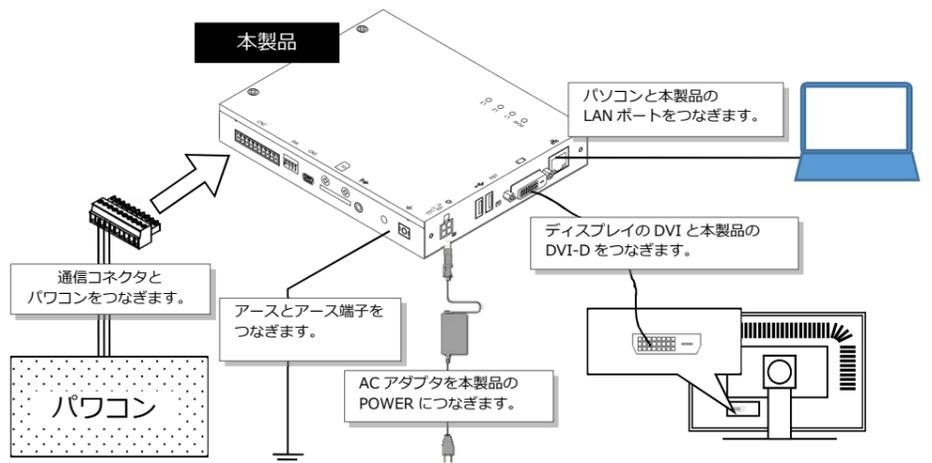
SolarView 本体が RS-485 接続の終端になる場合は、通信コネクタに終端抵抗を取り付けてください。



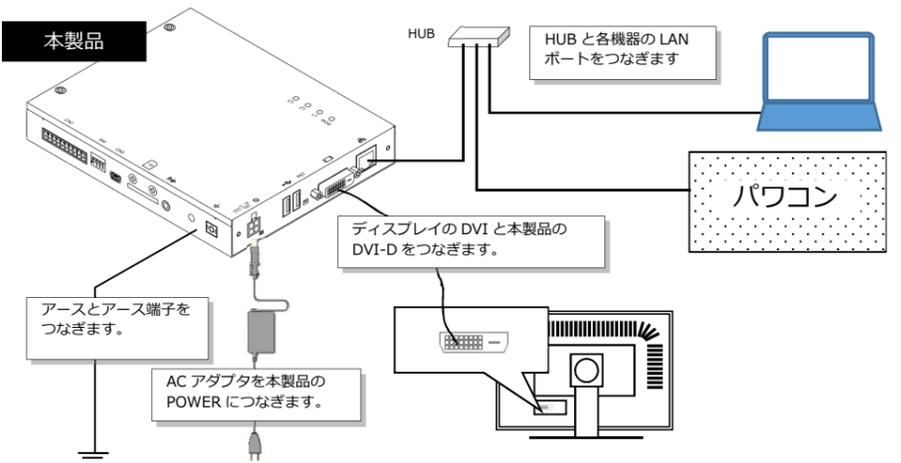
5. 周辺機器と接続する

接続機器、および本体の電源が OFF になっていることを確認してください。以下の要領で、すべての機器を接続してください。

[RS-485 パソコンと接続する場合]



[LAN パソコンと接続する場合]



本体に接続した AC アダプタをコンセントに挿してください。

SolarView Compact が起動します。

※本体の電源を ON にした後で、周辺機器の電源を ON してください。

裏面も読むんじやよ

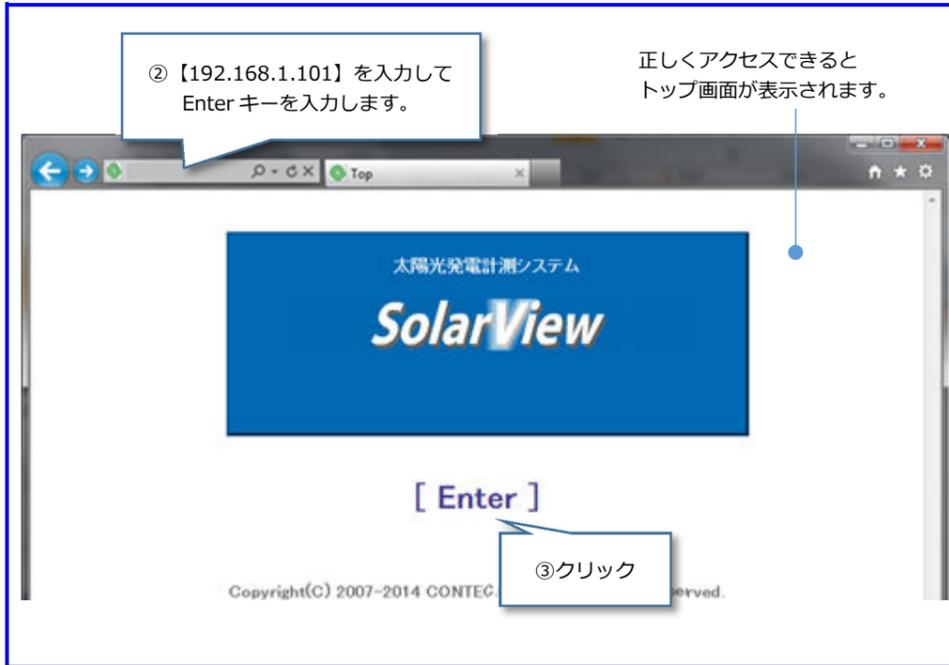
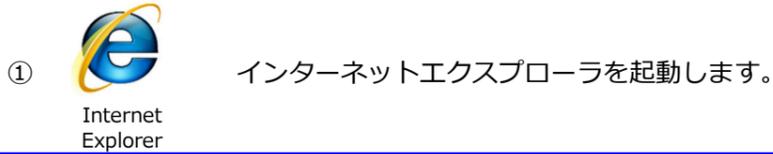


裏面へ

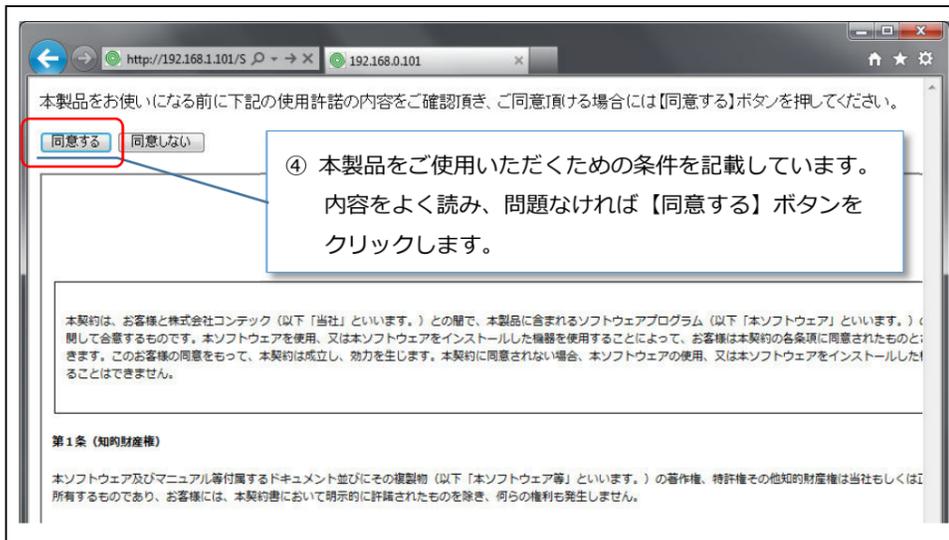
6. 設定画面を開く

設定用のパソコンの電源を入れて、Windows を起動します。

パソコンの IP アドレスの設定方法 Windows 設定方法（商品添付）をご覧ください。



画面が表示されない場合は、「Windows 設定方法」（商品添付）をご覧ください。



使用条件に承諾できない場合は、【同意しない】ボタンをクリックします。
お買い求めの販売店に連絡し、返品の手続きを行ってください。



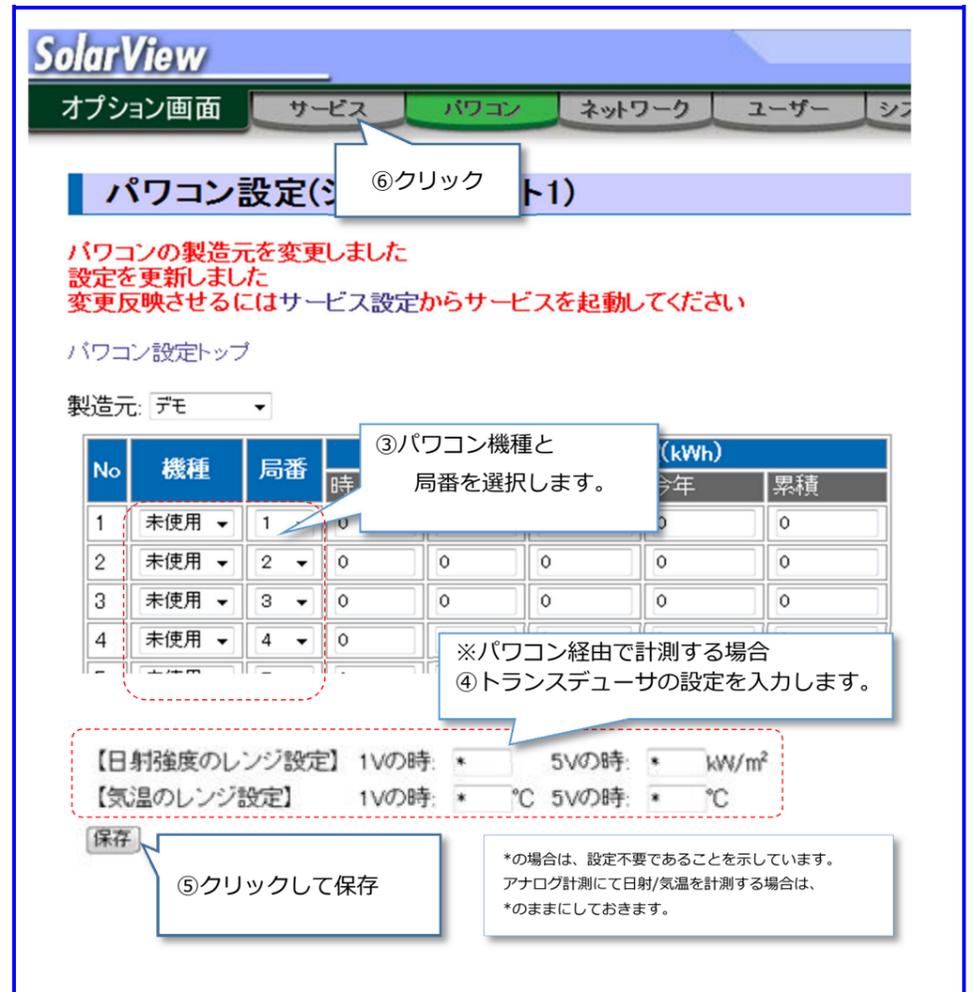
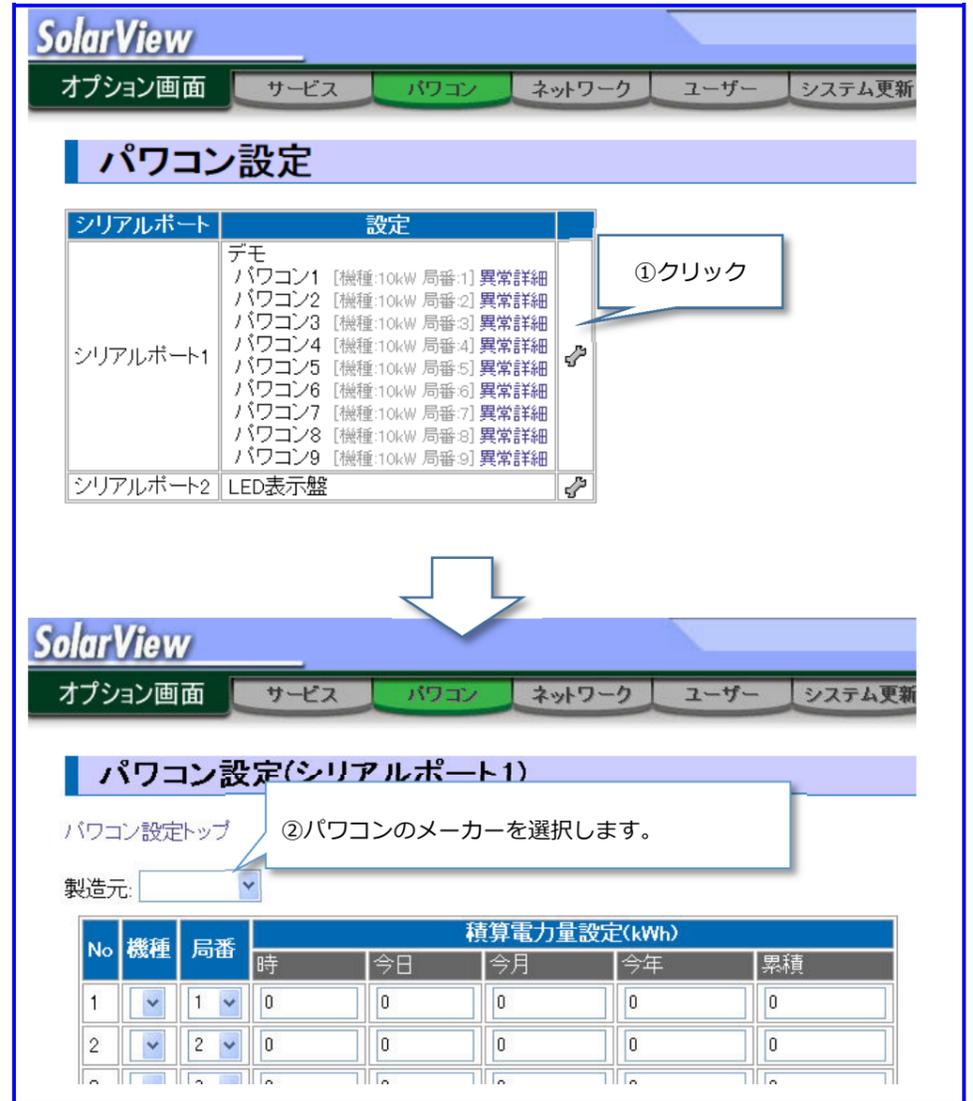
いよいよ計測/監視設定を行います。必要な情報を準備してください。

設置したパソコンの詳細についてご確認ください。

- ・ パソコンメーカーと機種
- ・ 設置台数
- ・ パソコンの局番（RS-485 パソコンの場合）
- ・ IP アドレスなどのネットワーク情報（LAN パソコンの場合）
- ・ トランスデューサのレンジ設定（日射、気温データを取り込む場合）

7. RS-485 パソコンを設定する

LAN パソコンを使用する場合は、次のページへ進んでください。



【9. 計測をはじめる】へ進んでください。

LAN パソコンは次の章を読んでね



2 枚目へ

8. LAN パワコンを設定する

RS-485 パワコンと接続する場合は、本設定は不要です。【9. 計測をはじめる】へ進んでください。

①クリック

シリアルポート	設定
シリアルポート1	デモ パワコン1 [機種:10kW 局番:1] 異常詳細 パワコン2 [機種:10kW 局番:2] 異常詳細 パワコン3 [機種:10kW 局番:3] 異常詳細 パワコン4 [機種:10kW 局番:4] 異常詳細 パワコン5 [機種:10kW 局番:5] 異常詳細 パワコン6 [機種:10kW 局番:6] 異常詳細 パワコン7 [機種:10kW 局番:7] 異常詳細 パワコン8 [機種:10kW 局番:8] 異常詳細 パワコン9 [機種:10kW 局番:9] 異常詳細
シリアルポート2	LED表示盤

↓

**②パワコンのメーカーを選択します。
※ (Ethernet) 表記を含む項目**

製造元:

No	機種	局番	積算電力量設定(kWh)			
			時	今日	今年	累積
1	▼	1	0	0	0	0
2	▼	2	0	0	0	0

③パワコン機種を選択します。

No	機種	局番	積算電力量設定(kWh)			
			時	今日	今年	累積
1	未使用 ▼	1	0	0	0	0
2	未使用 ▼	2	0	0	0	0

↓

No	機種	接続先ポート	IPアドレス		積算電				
			時	今日					
1	▼	10000	192	168	1	20	10000	0	0
2	未使用 ▼	10000	192	168	1	30	10000	0	0
3	未使用 ▼	10000	192	168	1	60	10000	0	0
4	未使用 ▼	10000	192	168	1	60	10000	0	0
5	未使用 ▼	10000	192	168	1	60	10000	0	0

④パワコンのIPアドレスと、ポート番号を入力します。

※パワコン経由で計測する場合
⑤トランスデューサの設定を入力します。

【日射強度のレンジ設定】 1Vの時: * 5Vの時: * kWh/m²
【気温のレンジ設定】 1Vの時: * °C 5Vの時: * °C

⑥クリックして保存

*の場合は、設定不要であることを示しています。
アナログ計測にて日射/気温を計測する場合は、
*のままにしておきます。

【ネットワーク設定の変更方法】

本体のネットワーク情報にあわせて、パワコンのネットワーク設定を調整してください。

パワコンのネットワーク設定を行うことができない場合は、パワコンのネットワークにあわせて、本体および Windows パソコンのネットワーク設定を適切に設定する必要があります。

IP アドレスは、同一のネットワーク内で重複することはできません。
同じ IP アドレスが複数存在する状態になると、正常な通信を阻害する要因になります。

【設定例】

パワコン IP アドレス 192.168.0.20 のとき

- SolarView 本体
- Windows パソコン

192.168.0.101
192.168.0.200

設備責任者とよく相談して、使用する IP アドレスを決定してから設定を行ってください。

ネットワーク設定が決まったら、SolarView 本体のネットワーク設定を行ってください。

①クリック

サービス設定

↓

項目	現在の設定	変更後の設定
IPアドレス取得方法	固定	固定 ▼
IPアドレス	192.168.1.101	192 168 0 101
サブネットマスク	255.255.255.0	255 255 255 0
デフォルトゲートウェイ		192 1 0 1

③クリック **クリック前に再チェック!!**

設定を間違えるとパワコンとも Windows パソコンとも通信できなくなります。

↓

④クリック

再起動

再起動が完了するまでには60秒程度かかります。

↓

⑤クリック

Windows パソコンのネットワーク設定も変更が必要な場合は、Windows 設定方法（商品添付）の設定方法を参考に、実際に使用するネットワーク情報にて設定を行ってください。

⑥【変更後のIPアドレス】を入力して Enter キーを入力します。

正しくアクセスできるとトップ画面が表示されます。

設定した IP アドレスがわからなくなったときは、解説書の解決方法を試してみるんじゃ

9. アナログ計測を設定する

本章の説明は、気象信号（日射/気象）をアナログ計測する場合にのみ必要な設定です。パソコン経由で計測する場合は、「7. RS-485 パソコンを設定する/ 8.LAN パソコンを設定する」を参照してください。

→ 接続方法は、解説書をご覧ください。

サービス設定

サービス **停止中** [起動] [停止]

① サービスが【停止中】であることを確認します。【起動中】の場合は、【停止】ボタンをクリックしてサービスを停止します。

② アナログ入力を選択します。

③ クリックして保存

[詳細設定]

Web ページからのメッセージ

⚠ 定格/テーマ/フォント/環境計測設定変更時は処理に15秒程度かかります

OK

④ クリック

基本設定

名称 SVC ※アナログ入力を指定した時のみ表示されます

定格発電電力(合計) 30 kW

環境計測設定 日射・気温の取込み元: アナログ入力 **アナログ入力設定**

管理者のメールアドレス svb@localdomain

メール送信 パソコン異常時: 無効

⑤ クリック

アナログ入力設定

サービス設定トップ

Ch	信号名称	1V(4mA)の時の値	5V(20mA)の時の値
0	日射強度(kW/m ²)	0	1.43
1	気温(°C)	-20	100

⑥ トランスデューサの設定を入力します。

⑦ クリックして保存

10. 接点監視を設定する

本章の説明は、発電設備からの接点出力を取得する場合にのみ必要な設定です。接点情報を取得するためには、外付けの電源回路を準備する必要があります。

→ 接続方法と電源回路は、解説書をご覧ください。

サービス設定

サービス **停止中** [起動] [停止]

① サービスが【停止中】であることを確認します。【起動中】の場合は、【停止】ボタンをクリックしてサービスを停止します。

② クリック

[詳細設定]

詳細設定

③ クリック

[接点監視設定]

接点監視設定

④ 接点名称、履歴保存の有無、メール通知の有無を設定します。

名称	履歴保存	メール
接点1 MCCBトリップ	-	-
接点2 重故障一括	-	-
接点3 軽故障一括	-	-
接点4 エンクロ扉開	-	-

⑤ クリックして保存

11. 計測/監視を始める

12. 計測状態を確認する

最後は表示ディスプレイの設定ね



3枚目へ

13. ディスプレイの表示を確認する

※ ディスプレイ設定は、サービス状態を【停止】する必要はありません。

ディスプレイの出力が乱れている場合は、【ディスプレイとの接続】が正しく設定されていることを確認してください。

The image shows a step-by-step process for configuring the display in the SolarView system. It starts with the 'SolarView' menu where 'サービス' (Service) is selected. The 'サービス設定' (Service Settings) page shows the service is currently '停止中' (Stopped). In the '基本設定' (Basic Settings) section, the 'ディスプレイとの接続' (Display Connection) is set to 'TV接続(DVI-HDMI変換)'. A callout box explains that for DVI/HDMI displays, the connection should be made to the DVI port. The '更新' (Update) button is clicked, leading to a 'Web ページからのメッセージ' (Message from Web Page) dialog box with an 'OK' button. Finally, a monitor displays a slide show with the following data:

項目	値
日射強度	0.806 kW/m ²
現在の発電電力	29.13 kW
今日の発電電力量	69.5 kWh

④ディスプレイのスライドショーに計測値が表示されることを確認

付録 A 好きな画像をスライドショーに流す

スライドショーでは登録した画像を表示することができます。

登録できる画像は以下の制限があります。

- サイズ：1 MB 以下
- 解像度：1280×720 以下
- 種類：jpg または png

⚠ 制限を越える画像を転送したい場合、裏面の付録 B を参照してください。

①クリック

②クリック

③クリック

④選択

⑤クリック

⑥クリック

⑦クリック

No	表示順	表示	スライド種類	表示時間	コメント
1	1	有効	計測値(現在)	10秒	計測値(現在)
2	2	有効	計測値(積算)	10秒	計測値(積算)
3	3	有効	計測値(環境換算)	10秒	計測値(環境換算)
4	4	有効	環境コンテンツ(自然エネルギーの種類)	10秒	環境(自然エネルギー)
5	5	有効	環境コンテンツ(省エネと防災機能)	10秒	環境(省エネ)
6	6	有効	環境コンテンツ(太陽光発電の環境貢献)	10秒	環境(環境貢献)
7	7	有効	日報	10秒	日報
8	8	有効	月報	10秒	月報
9	9	無効	画像	5秒	今週の予定
10	10	無効	画像	5秒	
11	11	無効	画像	5秒	
12	12	無効	画像	5秒	
13	13	無効	画像	5秒	

No9~15 のスライドは、登録した画像を利用することができます。

スライドショー設定では、背景画像、画像、計測値表示項目/タイトル本文の各種プロパティを設定します。



(タイトル)
(本文)
(計測値)

(画像)

(背景)

※それぞれが結合されて1つのスライドを構成します。



スライドショー設定(スライド10)

一覧へ戻る 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

⑧[有効]に変更

⑨登録した背景を選択

⑩画像の選択と表示位置の調整

⑪表示項目と表示位置の調整

基本設定 表示: 有効 種類: 画像 表示時間: 9 秒 コメント: スケルトンテスト

背景画像 未設定 ※背景画像が未設定の場合、「共通背景」または「テーマの背景」を表示します

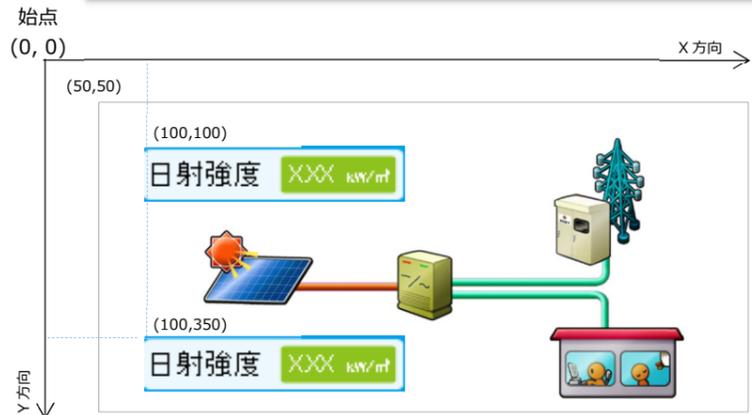
タイトル サイズ: 72 色: white/black フォント: 通常

本文 サイズ: 28 位置: (115, 375) 色: black

画像 画像1: template_1.png 位置: (0, 0) 画像2: 未使用 位置: (0, 0) 画像3: 未使用 位置: (0, 0)

計測値表示 発電電力 位置: (500, 190) 積算電力量 位置: (50, 450) 日射強度 位置: (50, 50) CO₂削減量 位置: (850, 590) 気温 位置: (50, 150)

表示位置は、X方向、Y方向の座標で指定します画面左上が始点(0,0)として、表示項目に指定したパーツの左上の座標を指定してください。



スライドショー設定(スライド10)

スライド10の設定を保存しました
設定はスライドショーが次周になった時に反映されます

一覧へ戻る 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

⑪クリック

⑫クリックして設定を保存

基本設定 表示: 有効 種類: 画像 表示時間: 9 秒 コメント: スケルトンテスト

背景画像 未設定 ※背景画像が未設定の場合、「共通背景」または「テーマの背景」を表示します

付録 B 画像を編集する

大きな画像を編集してサイズを下げます。本手順の環境は Windows 10 です。

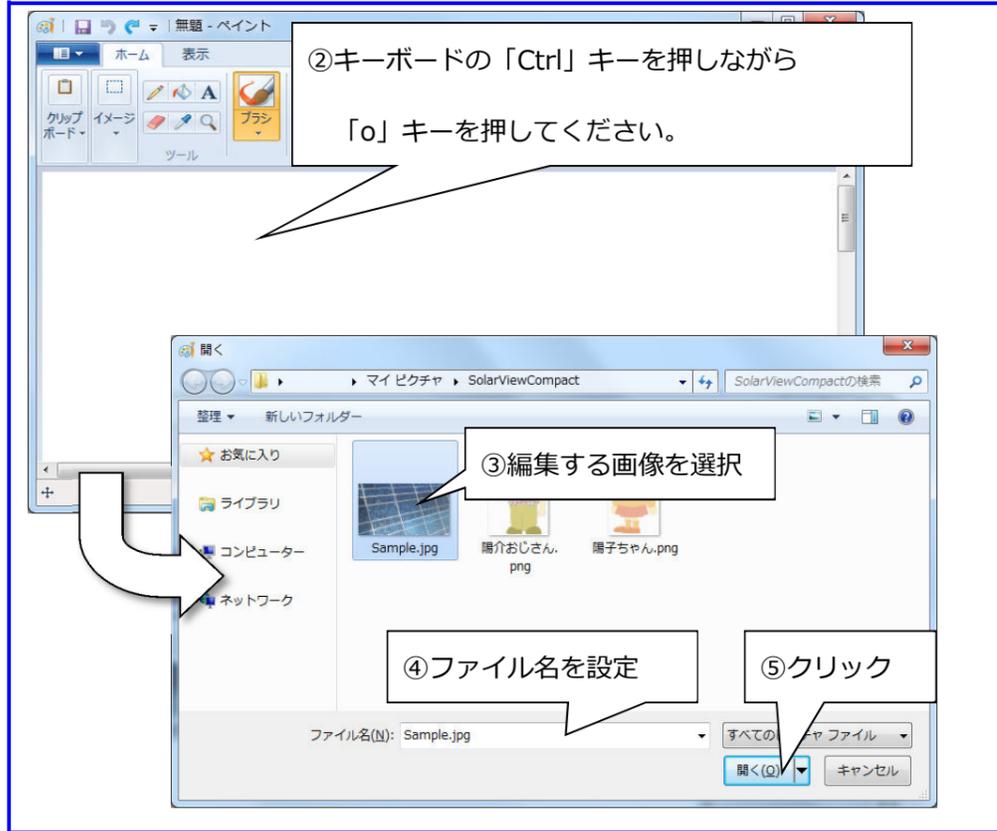
①  ペイントを起動します。

② キーボードの「Ctrl」キーを押しながら「o」キーを押してください。

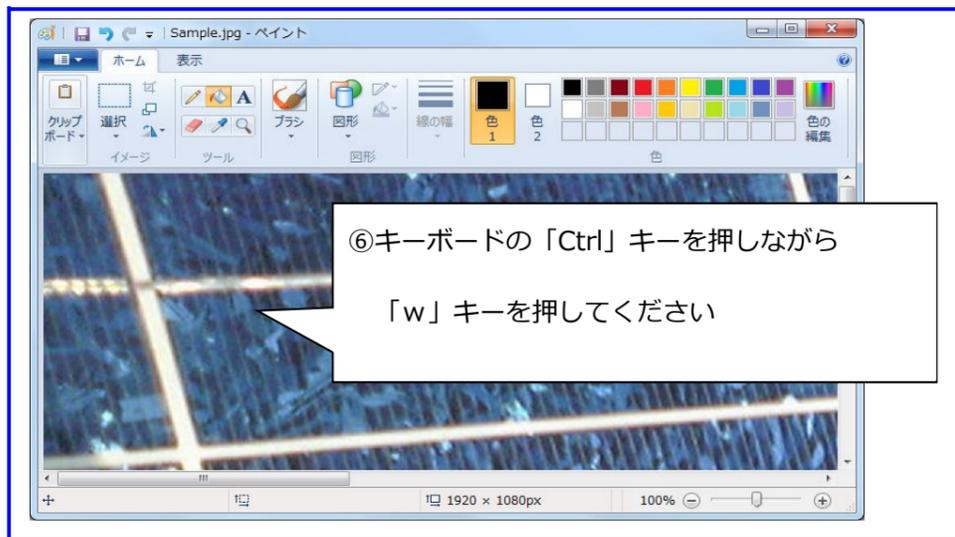
③ 編集する画像を選択

④ ファイル名を設定

⑤ クリック



⑥ キーボードの「Ctrl」キーを押しながら「w」キーを押してください



⑦ ピクセル

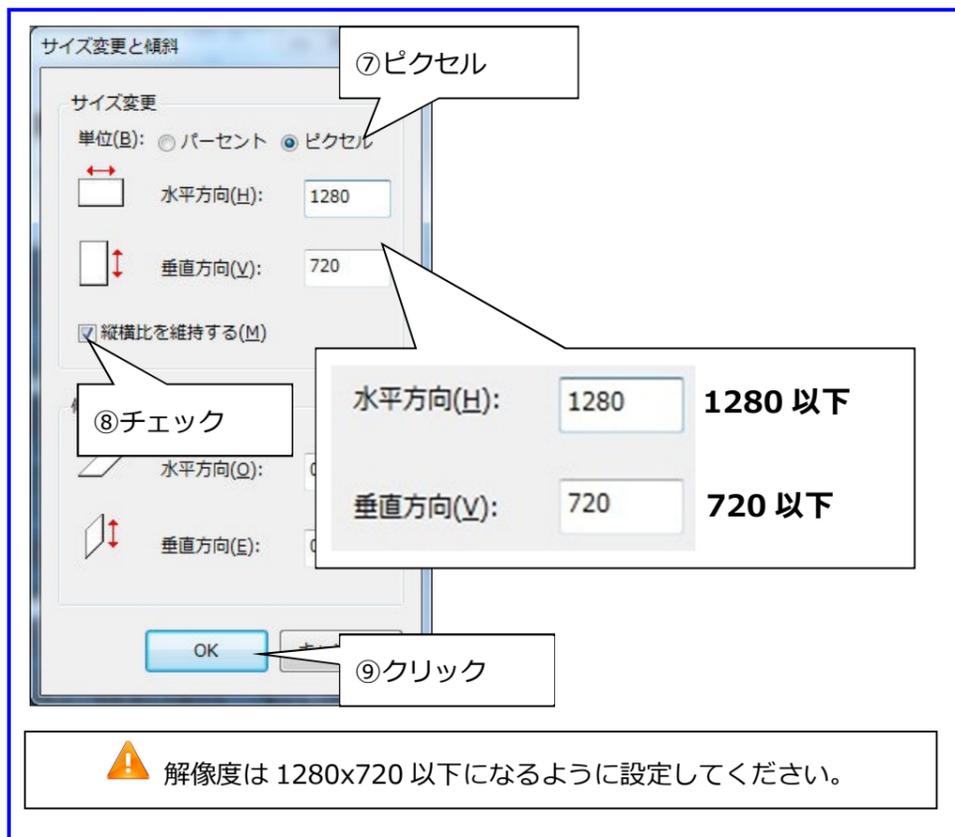
⑧ チェック

⑨ クリック

水平方向(H): 1280 1280 以下

垂直方向(V): 720 720 以下

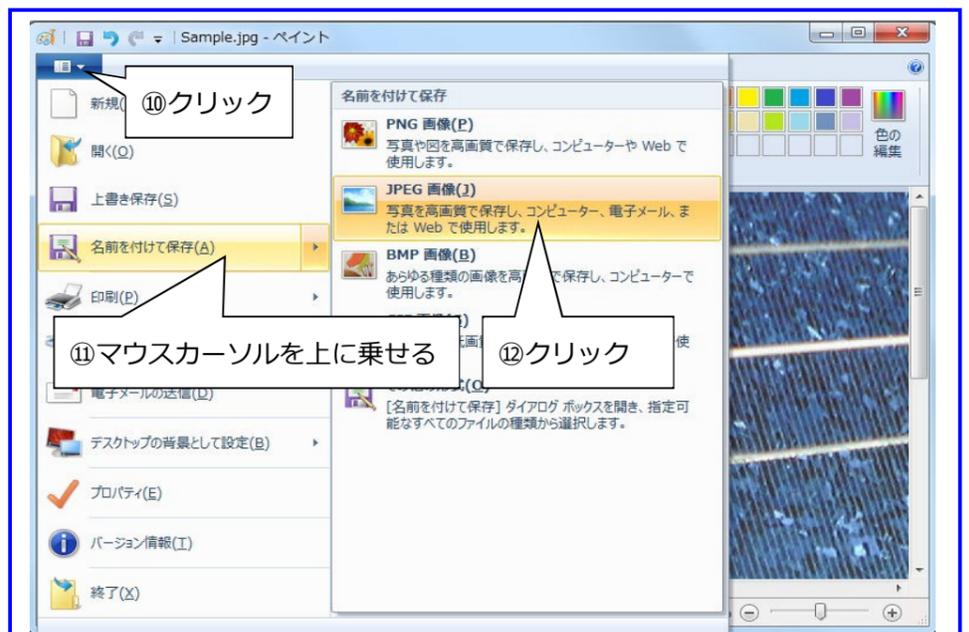
解像度は 1280x720 以下になるように設定してください。



⑩ クリック

⑪ マウスカーソルを上に乗せる

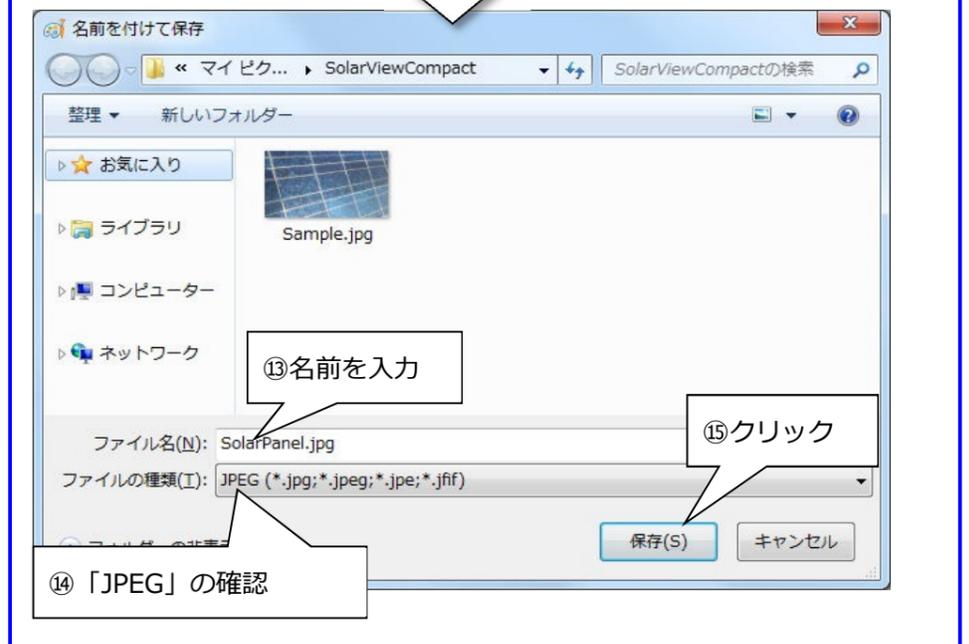
⑫ クリック



⑬ 名前を入力

⑭ 「JPEG」の確認

⑮ クリック



サイズが変更された jpg ファイルが保存されます。



ソフトウェアマニュアルも、ちゃんと読んでね！

ソフトウェアマニュアルは、コンテックのホームページからダウンロードしてください。

<https://www.contec.com/>

※ダウンロードするには、ユーザー登録 (myCONTEC) が必要です。

株式会社コンテック

サポート窓口：ソリューションサポートセンター

TEL：06-6477-4985 (ダイヤルイン)

Email：ssc@contec.jp

ホームページ：https://www.contec.com/

本製品および本書は著作権法によって保護されています。無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

Copyright© CONTEC CO., LTD. All Rights Reserved.

NA01679/LYNM079 [11292017]